

お客様各位

平成22年3月3日

日本化薬株式会社

## ダイアジノン粒剤10の適用拡大のお知らせ

拝啓

貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、ダイアジノン粒剤10（登録番号20304号）が平成22年3月3日付で適用拡大となりましたのでお知らせいたします。

敬具

### 記

#### 1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号	第20304号
名 称	ダイアジノン粒剤10

#### 2. 適用病害虫の範囲又は使用方法の変更の内容

農薬登録申請書第7項について、以下のとおり変更し、別紙1（変更前）を別紙2（変更後）とする。

- ① 作物名「えだまめ」、適用病害虫名「タネバエ、ネキリムシ類」を追加する。
- ② 作物名「ほうれんそう」の使用量を「3～5 kg/10a」に変更する。
- ③ 作物名「だいこん、はつかだいこん」に適用病害虫名「ネキリムシ類」を追加する。
- ④ 作物名「キャベツ」の適用害虫名「タネバエ」、使用量「5 kg/10a」を追加する。
- ⑤ 作物名「カリフラワー、ブロッコリー」、適用病害虫名「ネキリムシ類」を追加する。
- ⑥ 作物名「だいず」、「はくさい」、「キャベツ」、「レタス」及び「にんじん」の適用病害虫名「ネキリムシ類」に係る使用方法「全面散布」を「土壌表面散布」に変更する。
- ⑦ 作物名「だいず」のダイアジノンを含む農薬の総使用回数を「5回以内」に変更する。
- ⑧ 作物名「いんげんまめ」のダイアジノンを含む農薬の総使用回数を「3

回以内（種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内）」に変更する。

- ⑨ 作物名「ほうれんそう」のダイアジノンを含む農薬の総使用回数を「2回以内（は種時及びは種前の土壌混和は合計1回以内）」に変更する。

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第8項に（3）として以下を追加し、現行（3）を（4）として別紙3のとおりとする。

- （3）ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないこと。

(変更前)

## 7. 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
だいず	タネバエ	3 kg/10a	は種時	1回	作条土壌混和	5回以内 (粉剤は1回以内)
	ネキリムシ類		収穫30日前まで	5回以内	全面散布	
いんげんまめ	タネバエ		は種時	1回	作条土壌混和	4回以内 (種子粉衣は1回以内、は種時の粉剤の処理は1回以内、粒剤は2回以内)
ほうれんそう						2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)
だいこん はつかだいこん						2回以内
はくさい	ネキリムシ類		定植時		全面土壌混和	1回
キャベツ					全面散布	
レタス					全面土壌混和又は作条土壌混和全面散布	2回以内
ねぎ わけぎ あさつき	タネバエ		は種時			作条土壌混和
たまねぎ	タマネギバエ		定植時			
にんじん	ネキリムシ類	は種時及び生育期 ただし収穫90日前まで	2回以内	全面散布	2回以内 (は種前及びは種時は合計1回以内、生育期は1回以内)	
芝	シバツトガ	発生初期	4回以内	散布	4回以内	

(変更後)

## 7. 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数		
だいず	タネバエ	3 kg/10a	は種時	1回	作条土壤混和	5回以内		
えだまめ	ネキリムシ類		収穫30日前まで	5回以内	土壤表面散布			
いんげんまめ	タネバエ	3～5 kg/10a	は種時	1回	作条土壤混和	3回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)		
ほうれんそう								2回以内 (は種時及びは種前の土壤混和は合計1回以内)
だいこん			3 kg/10a					
はつかだいこん	ネキリムシ類	収穫21日前まで		2回以内	土壤表面散布			
はくさい		5 kg/10a	定植時	1回	全面土壤混和	1回		
キャベツ					土壤表面散布		2回以内	
	タネバエ				全面土壤混和			
レタス	ネキリムシ類	3 kg/10a			全面土壤混和又は作条土壤混和			
					土壤表面散布			
ねぎ	タネバエ				は種時			作条土壤混和
わけぎ								
あさつき								
たまねぎ	タマネギバエ		定植時					
にんじん	ネキリムシ類		は種時及び生育期 ただし収穫90日前まで	2回以内	土壤表面散布	2回以内 (は種前及びは種時は合計1回以内、生育期は1回以内)		
カリフラワー			収穫30日前まで				2回以内	
ブロッコリー								
芝	シバツトガ		発生初期	4回以内	散布	4回以内		

(変更後)

8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (3) ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないこと。
- (4) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。